二夕日刊
磐城時報
福島縣石城郡平町字田町十八
磐城時報社
印刷人　岡田弘義
福島縣石城郡平町字田町十四
印刷所　加藤活版所
福島縣石城郡平町字田町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（毎朝發行）休刊

川崎、中野氏等を招いて
民政黨發會式
午後から平劇場で演說會

磐城民政黨發會式は來る十四日午前十時平町南町石城民政クラブで擧行、規約制定、役員選擧等の後來る九月の縣會議員改選に對する打合はせをなし午後一時から平劇場で政談演說會を開く筈であるが、當日臨席する重なる顏ぶれ左の如し。

大島要三、川崎卓吉、中野正剛、比佐昌平

二毛作品評會
褒賞授與式

平町、神谷、好間、平窪、草野一町四ヶ村二毛作立木品評會褒賞授與式は一日午後二時から平町役場で擧行、農事試驗場から佐本場長、福地技師、縣農會から野村技師、石城農事試驗場から稻田技師、小塙技手、郡農會大山技師、郡駐在神尾技師等臨席授與、終つて佐本場長の講演あり午後五時から住吉屋本店で五十余名の慰勞の宴を張つた。

▲農事の打合せ　神谷

村農事實行組合長會議は過般同村小學校に開き共同作業、副業奬勵、病虫害驅除、農事實行組合活動方法、農業村是確立、村農會活動上適切なる施設等について打合はせをなした。

咽び泣く聲絶えず
故櫻井氏の校葬
會葬者貴顯紳士を網羅し悲しくも盛葬を極む

人格、識見共に卓越し稀に見る名校長として當局の覺ゐも高父兄からの信望之亦殊に厚かつたのみならず全校八百余の生徒からは慈父の如く敬慕されてゐた磐城高等女學校長故櫻井賢文氏を悲しくも永劫に送らねばならぬ葬式の日は來た。死去以來近親知己逢がいとしめやかな通夜を行つてゐた平町古鍛冶町の櫻井氏邸は朝來貴顯紳士の弔客絶えず靈前には卒業生其他から贈られた花輪數十、香煙縷々として其間を繞るも一しほ哀愁の情をそゝる。午後一時明賢寺住職の讀經後葬列は委員長中川完一氏を先頭に出發し、紺屋町、搔搥小路を經て午後二時磐城高等女學校に到着した。會葬者同校生徒、同窓會員其他朝野の名士を合せて無慮二千余名、靈柩を迎へた磐女校は玄關から告別場なる同校裁縫室まで二百數十疊の疊を敷き詰め告別式場は裁縫室と作法室を連ね正面に柩を安置して告別式に移つた。先づ知事代理大久保學務部長の弔辭朗讀に續いて石城教育部會、縣下中等學校長代表、赤十字社福島支部並に石城分會、十三日會各學校教員で夏期大學講習員の十五日會、弘道會牛支會、石城聯合体育大會を擧行する筈であるが競技種目左の如し。

▲陸上競技　百米競走、四百米競走、千五百米競走、八百米リレー、走巾跳、走高飛、砲丸投、バレーボール（一組九人）バスケットボール（一組五人）

▲水上競技　五百米（自由型）百米（自由型）二百米（自由型）

郡各學校代表、兒童研究會、平町學事關係者代表、磐高女職員代表、同窓會代表、校友會總代表、等の外各種團体代表の弔辭朗讀あり午後三時半告別式を閉ぢたが、式終るまで咽び泣く聲絶えず悲しくも盛葬であつた。

▲茄子品評會　好間村茄子立毛品評會は八月三日開催の筈で郡農會からは大山技師出張審査する。

きのふ開校された
小名濱の夏期大學
十一日には聯合体育大會
大久保學務部長の挨拶要旨

縣教育會主催通俗夏季大學は一日午前九時から小名濱町小學校に開催された、會員は縣下各小學校教員その他三百餘名で定刻會長大久保學務部長、菅野縣視學その他係員、講師、鈴木小名濱町長外町會議員、小野縣會議員來賓として列席、大久保會長開會の挨拶をなし講師を代表して二宮高師教授は講習上の注意訓示をなし、地方を代表して鈴木小名濱町長祝辭を述べ直に會長をABCDの四組に分け午前學校教員の他三白餘名で定刻學務部長、菅野縣視學、鈴木小名中は小名濱小學校庭にたいして体育及び競技の實習、午後からは海岸にたいて水泳の實習を行つたが、大久保會長の挨拶は如左

本會は例年學術を主として會員の教育をなして來たが最近各郡の教育部會及び各團体は斯うして体育方面の催しを試みるやうになつて來たので本縣の教育界では新例を開く意味から一般的に盛んになつて來た体育の向上を計るため主として体育方面の講習會を催すことになつた現在の体育は競技中心で即ち競爭が体育の主体で勝敗を目的としてゐるものがあるがこれは眞の体育の目的にそむくもので体育本來の目的は國民の体育を向上し身体を鍛練することによつて國防の上にたいても社會生活の上にも幸福の基をなすものであると思ふわれ〳〵は眞の体育を理解しその目的のために力を注がねばならない

因に同夏期大學は來る十日を以て終了する筈で十一日午前八時から小名濱町築港内に於て縣下各學校教員で夏期大學講習員の聯合体育大會を擧行する筈であるが競技種目左の如し。

▲陸上競技　百米競走、四百米競走、千五百米競走、八百米リレー、走巾跳、走高飛、砲丸投、バレーボール（一組九人）バスケットボール（一組五人）

▲水上競技　五百米（自由型）百米（自由型）二百米（自由型）

平地方の
白米暴落

平町地方の正米市況は東京精算市場が全國的豊作見越に低落を辿る一方なので益々軟化し昨今にては檢査米四等二十七圓三十五錢見當、檢査米二十六圓前後といふ先月來の高値から一駄約三圓方の釣瓶落し的暴落に一時は相當の反撥あるものと期待してゐた強氣筋も漸く形勢の不利なながめて持米を投出すに至つたので市場は逐日現品豊富となり尚一層の低落を豫想され買人皆無の姿となつてゐる。

雨天のため
七日續行
三縣聯合庭球大會

四倉町海岸コート新設紀念の福島、宮城、茨城三縣聯合庭球大會は三十一日擧行、參加組七十余、午後三時まで第四回戰を終ね準決勝戰に移る筈であつたが雷雨ありそのまゝ中止したが優勝組左の如く來る七日午後一時から優勝戰を行ふ筈である。

▲平倶樂部大内、大坪組▲同武藤、國府田組▲磐炭志賀、猪狩組▲綱松本、武者組

財布と時計を盗んで
自ら警察に届ける
刑事に晩まれて御用

東白川郡豐里村大字下原生れ當時平町搔搥小路菓子製造業水野金七方雇人益子義雄（二一）は三十日午後五時頃四倉海水浴場バラックの脫衣場に於て平區裁判所雇小谷敏一が脫ぎ捨てゝおいた衣類から懷中時計一個及び現金三圓九十圓其他を窃取した上一日平署に出頭し拾得したと虚僞の届出をなしたが不審の点があるので取調べた處窃取した事を自白した。

江名校で
水上競技

江名町小學校では去る廿九日午前九時より同町築港内に於て水上運動會を開催したが競技は前後卅二回で來賓者は隣町村學校長、各校生徒參觀人等無慮數千人を數へさしもに廣き會場の周圍は全く人を以て埋められ午後三時無事に閉會、それより慰勞會を同町沖見屋樓上に開き主催者として坂本與一郎氏開辭を述べ鈴木校長の答辭あり終りて宴に移り非常に盛會を呈した。

▲三十米横遊競泳、五十米競泳二十米競泳、三十米競泳、範泳筏流、湖上の花、筏相撲、他校選手桃拾ひ、百米競泳、五十米競泳、直跳、ドートレース、五十米スプンレース、百米平游競泳、二百米板子リレーレース、範泳跳込、バスケットボール、五十米平游競泳、水難救護演習、五十米板子平游、百米平游競泳、二百米リレーレース、スイミングモダンガール、四百米リレーレース、大井川渡

▲佑賢同窓會　平町舊城跡磐城佑賢學舍では三日午前九時から同校に於て第二十六回同窓會を開くと。

▲青年が自殺　平町才搔小路造花業金成幸次郎方雇人小幡七郎（二〇）は本年春頃から强度の神經衰弱に罹り遂に前途を悲觀して三十日夜家出し双葉郡久の濱町田の網地内の鐵道線路に飛び込み自殺を遂げたので四倉署から卅一日係官出張檢視の上屍体は相馬郡太田村の實父源助に引渡したが、所持してゐた扇子には浮世のはかなきを詠じた詩が書き遺されてあつた。

平第一校
臨海學校選信
（第一信）

お父さん、お母さんの御見送りを受けて僕等は汽車も元氣で無事に目的地の小名濱地福院に着きました。茶目るもの、下駄、靴を心配する者、色々の話の種を殘して赤ふん赤鉢巻、平第一臨海學校の白旗、丁度源平の戰の樣に、海へ、なぎさへとかけ出しました。砂に寢る者、小波とたはむれる者、仲々の大さわぎ。けれども先生等の命令にしつかりと守つてゐます。五時半夕飯をたべました、俺は三杯だ、僕は五杯だと大食官をきどる連中も見受けられました食事を終へ、自分の食器は自分で仕末をして三々五々散歩に出かけた。（八月一日）

東京株式清算取引高低表

(東株ハ當中他株ハ先限ノミ)

◎第一部

東株(當)	寄付止	白煉	二五八
(中)		日セ	一二六
(先)		淺野	七二五
同新(當)		同新	三三九
(中)		磐セ	五一四
(先)		久原	四八八
郵船		同新	一五〇
同新		日石	五〇五

◎第二部

麥酒		自動	三五三
同新		同新	一五二
富紡	四三	富紙	九九五
同新	二一	同新	九二八
鐘紡	二三		
同新	一二		
日糖	一二四九		
同新	二三八五		
資取	一三五九		
麥鑛		帷太	一一四
熱帶		日魯	一一〇

◎第三部

同新	七一	鹽水	五一〇
日粉	三六五	久原	五〇八
		新淺	五六三
		日石	五〇八
		新鐘	一三三
		新東	一三八九

短期前場

寄付	高値	安値	引値
	五一〇	五〇八	五〇九
	五八三	五六六	五八三
	三三六	三三三	三三四
	五〇八	五〇三	五〇五
	一三三六	一三三三	一三三五
	一三八九	一三八三	一三八七

來る八月三日午前九時より第二十六回同窓會を開會

(本廣告を以て通知に代ふ)

磐城佑賢學舍同窓會

惡性ノ皮膚病ト花柳病ノ豫防ニハ

ヒビ

一個 五十錢 三十錢

特約店 磐城平町 關内藥局 電四〇番

東京商品取引

(八月二日前場)

◎期米

六限	七限	八限	
一節	三二九五	三三五九	三三八〇
二節	三三〇〇	三三四九	三三七七
三節	三三〇八	三三四一	三三七九
四節	三三〇〇	三三一六	三三五〇
五節	三三一二	三三二四	三三五三
六節	三三一九	三三三五	三三六一
七節	三三二一	三三五〇	三三八八
八節	三三二五	三三六九	三三〇〇

◎綿糸

八限	一節 三二七三	二節 三二六九	三節 三二六九	四節 三二六九
九限	三二九〇	三二八九	—	三二九一
十限	三三一一	三三一七	—	三三一八
十一限	三三四八	三三四五	三三四六	三三四五
十二限	三三五〇	三三五〇	三三五一	三三五〇
一限	三三七九	三三七七	三三七九	三三七九
二限	三三七七	三三八〇	三三八〇	三三八〇

◎生糸

八限	一節 三四〇	二節 三三九	—
九限	—	三四六	三四七
十限	三三五	三三五	三三六
十一限	三三五六	三三五六	三三五六
十二限	三三五六	三三五五	三三五五

旅館常盤

松ヶ岡公園は深緑に變る

緑滴るばかりの公園池畔

盛夏の情景

をれ慕ひあれ

松ヶ岡公園池畔 電話二二六番

割烹旅館

酷暑を避けて!!!

海へ!!! 山へ!!! 海水浴着と登山袋

携帶用鞄各種

運送に最も理想的なズック製布團入

ツルヤ洋品店

平町四丁目【電話百四十番】

◎簡易の金融—誠意と堅實 ◎趣味の貯蓄—其存と其榮

▲絶へず會員を募ります ▲何時でも御申込下さい

大藏省免許

磐城無盡商會

本店植田町本丁 支店平町中丁

岐阜提灯廉價提供!!!

銘茶、糸類 玩具問屋

いづや

平町二丁目【電話六四九番】

今年は亡妻の新盆に相當り居候處故人の遺志も有之甚だ勝手乍ら提灯其他の供物は固く御辭退申上度惡からず御諒承願上候

平町搔槌小路

武藤治郎三郎

滋養、强壯劑として愈々好評

偉大なる藥酒「粟守酒」

朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は休眠の助力

粟守酒特約店 大平屋藥店

代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目【電話六二四】

印刷物は加納活版所

平町病醫院案内

外科專門	上田外科醫院	南町	(電話一二九番)
外科一般 婦人科 耳鼻咽喉科	赤心堂病院	田町	(電話四七五番)
眼科專門	吉田眼科醫院	紺屋町	(電話六八番)
內科、外科 淋病、黴毒科	藤沼醫院	紺屋町	(電話五〇七番)
內科外科 婦人科小兒科 花柳病科	磐城病院	田町本通り	(電話一一四番)
耳鼻咽喉科	大和田醫院	南町	(電話一七〇番)
齒科專門	原齒科醫院	土橋通り	(電話三一一番)
內科外科 耳鼻咽喉科 花柳病科	高久病院	田町	(電話一三五番)
內科 胃腸病科 梅毒淋病科	松村病院	南町	(電話一〇七番)